

平成27年度第2回豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議（要約表記）

【日時】平成27年11月18日（水）午後2：00～午後3：05

【場所】豊田市役所南庁舎 南51会議室

【出席者】

（委員）※委員名は名簿順

櫛部明子（市民公募委員）
石川みどり（市民公募委員）
鈴木崇義（市民公募委員）
石黒亜美（子ども会議代表）
山田宏之（市区長会理事）
永治英之（市子ども会育成連絡協議会会長）
武田洋子（私立幼稚園協会市対策委員）
那須千歳（私立幼稚園保護者の会連合会会長）
三橋利昭（市青少年健全育成推進協議会会長）
山村佳織（市こども園保護者の会副会長）
竹中美智子（市母子保健推進員の会副会長）
山内高子（市民生委員児童委員協議会主任児童委員部会書記）
福上道則（社会福祉法人清心会東保見こども園園長）
中屋浩二（児童養護施設梅ヶ丘学園園長）
大森隆子（椋山女学園大学教授）
高橋昌久（豊田加茂医師会理事）
山門豊（トヨタ自動車(株)人材開発部第1人事室室長）
藪押光市（豊田商工会議所事務局長）
西村典子（豊田加茂福祉相談センター センター長）
森田大輔（名古屋法務局豊田支局総務課課長）
小澤仁和（連合愛知豊田地域協議会代表）
熊谷めぐみ（市小中学校長会代表）
釘宮順子（NPO 団体フリースペースK代表）
萬屋育子（子どもの虐待防止ネットワークあいち理事長）

（代理）間宮静香（市子どもの権利擁護委員） ※大村恵委員代理

（事務局）成瀬和美（子ども部長）
曾我部一郎（子ども部副部長）
加藤義和（学校教育課長）
久野友士（青少年相談センター所長）
坂井京子（次世代育成課長）

天 野 雄 二 (子どもの権利相談室室長)
野 田 洋 子 (子ども家庭課長)
村 中 正 史 (保育課長)
河 合 悦 子 (保育課主幹)
中 野 雅 之 (保育課副課長)

【欠席者】 米 山 秀 勝 (市 PTA 連絡協議会会長)
野 口 眞 弓 (日本赤十字豊田看護大学教授)
大 村 恵 (市子どもの権利擁護委員代表擁護委員)
鈴 木 隆 司 (豊田警察署生活安全課課長)

1 開会

- 事務局：・第2回豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議を開会する。本会議の進行は子ども部の曾我部が務める。
- ・豊田市では、公正で透明性の高い市政運営を推進するため、原則として審議会の会議及び会議録の公開に努めている。当推進会議においても、会議と会議録を公開していきたい。会議録については、一般の皆さまがご覧いただけるよう、市のホームページにも掲載していく。
 - ・本日は会議を傍聴される方が3名おられるので、報告させていただく。
 - ・本会議の委員の変更あり。トヨタ自動車㈱の小竹隆行委員が人事異動により退任されたことを受け、新たにトヨタ自動車㈱人材開発部第1人事室長の山門豊様が委員に就任。委嘱させていただく。なお、任期は平成29年7月28日まで。
 - ・本日出席委員は、28名中24名で、4名が都合により欠席。規則に規定する委員の半数以上の出席を満たしているため、本会議が成立することを報告させていただく。
 - ・それではお手元の次第に基づいて進めさせていただく。最初に子ども部長よりあいさつ申し上げる。

2 子ども部長あいさつ

- 部 長：・ご多用の中、本会議に出席いただき感謝申し上げます。
- ・毎年11月は、児童虐待防止の推進月間ということで、全国的に様々な取組が行われている。本市においても、公共施設にのぼりを立てたり、懸垂幕を掲示したりとPRを行っている。職員もオレンジリボンやバッジを身に付けて、市民の皆様に啓発をさせていただいている。お手元に啓発グッズを置いたので、ご確認いただきたい。
 - ・昨日も報道のあったとおり、2歳の息子に無理やりたばこを吸わせ、その様子をインターネットで投稿して逮捕される事件が起きた。その行動に理解に苦しむが、わたしたちは決して市内でそのようなことが起きないように気を付けていきたいと考えている。
 - ・さて、今回の会議では、公立こども園の民間移管に関して、どこの園をいつ実施する

かなど具体的な話が出てくる。来年1月にはパブリックコメントを実施し、今年度中には計画を完成させたいと考えている。本事業が円滑に進むよう、今日は忌憚のない意見をいただきたいと思っている。

3 大森会長あいさつ

会 長：・私は今、大学生と中高校生をみているが、大学4年生は就活を終えて海外旅行などを計画しているところだが、先日フランスで大変な事件が起きたので、その影響を受けているという感じがしている。

- ・大学3年生は就職活動に向け動き出している状況。
- ・中学生は身体も大きくなり、高校生と見た目は変わらないが、中身はまだまだ子どもで、いじめ問題や人間関係問題の処理の仕方が未熟である。高校生くらいになると少し大人になり上手な付き合い方ができるようになるが、中学生はギリギリのところで生活しているという印象を強く受ける。本日もいじめ問題について報告があるが、問題解決に向けて知恵をいただければと思う。

4 議事

(1) 「施設・事業利用定員審査部会」の設置について【資料No.1】

事務局：・資料No.1 施設・事業利用定員審査部会の設置について説明（保育課）

会 長：・ただいまあった説明に対し、何かご意見、ご質問はあるか。

（意見、質問特になし）

会 長：・特に反対意見もないようなので、「施設・事業利用定員審査部会」を設置することとする。

- ・なお、部会員の指名は、豊田市子ども規則第23条第2項の規定に「会長が推進会議の意見を聴いて指名する」とあるので、私から部会員の候補者名を申し上げる。
- ・武田委員、那須委員、山村委員、竹中委員、福上委員、中屋委員、大森、野口委員の以上8名の方、よろしくお願ひ申し上げます。

(2) 公立こども園の民間移管について【資料No.2】

事務局：・資料No.2 公立こども園の民間移管について概要説明（保育課）

会 長：・ただいま、公立こども園の民間移管について、現状の課題、今後の方針、計画期間、対象園、今後の進め方、スケジュールなどを説明いただいたが、このことについて、何かご意見、ご質問はあるか。

委 員：・10年くらい前に長女が公立こども園にお世話になった。そして長男が民間移管の最初の年に入園した。保護者は使っていた制服が使えなくなることや、先生が全員変わってしまうこと、また保育料は変わらないか、駐車場はこれまでどおり使えるのかなど、大変不安を抱いていた。その後、先生方の丁寧な質問で、保護者は徐々に民間移管を受け入れていった。

- ・保護者は子どもが元気に園に通ってくれば、時間が経てば移管後の心配や不安は消えていくと思うが、その心配や不安を一身に受けられる先生方のケアが必要だと感じている。
 - ・先ほどの説明で、職員への研修や地域・保護者との意見交換会などの対策を取られるとの話があったが、その他具体的な対策として何かあるか？
- 事務局：・保護者への説明は、理解いただけるよう何度も時間をかけて実施させていただく。
- ・職員の交替に伴う子どもや保護者の負担をどう軽減させるかということですが、1年間の準備期間を置き、選定された移管法人から実際に経営を担う職員を含む数名の職員を派遣し、実際に保育の中に入れていただく。1年間を通して、大きな行事や日々の保育から、地元や保護者との連携の仕方など公立のノウハウを現場で習得していただく予定。
 - ・園児や保護者になるべく負担をかけないようにしたい。
- 委員：・私は長女が年少で現在東海こども園に預けている。こども園保護者の会長を務めている中でいろいろな保護者の方のお話を伺っていて、東海こども園に関しては、保育士の数が非常に多く、しっかり対応してくれるので保護者の不安も少ない。今回3歳児の枠を拡げるとのことだが、3歳児の子を持つ母親は働いている方が多く、保護者会（バザー等の行事の企画・運営、写真の送付等）の負担が大きいとどうしてもミスマッチしてしまうことがあるが、そういった点でニーズに応えていただける環境になることが期待できると思う。
- ・また、外部の体操教室を実施している団体などと連携し、保育に取り入れていただいております。教育面においても多様化して対応いただけると思う。移管にあたってはこのような教育のサービスの向上が図られるようお願いしたい。
- 委員：・私は、名古屋市で民間移管の選考委員を3～4年務めている。移管後に職員を派遣したり、新築を待って移管するという話があったが、名古屋市では考えられないくらいの対応で、豊田市は子育てに恵まれていると感じた。
- ・質問だが、移管法人の対象は、学校法人もしくは社会福祉法人とのことだが、それ以外の条件は考えているか？名古屋市で言えば、名古屋市内で保育所を開設して何年という条件もある。もう1点は、移管法人の選考委員会について、委員の構成はどのように考えているか教えてほしい。福祉関係者はもちろんだが、法律家や経済関係者など様々な職種の方を入れた方がよいと考える。
- 事務局：・1点目の法人の選考の条件についてだが、現在想定しているのは、県内で実際にこども園、保育所を運営している法人を想定している。
- ・2点目の選考委員会の委員構成について、会計部門に明るい会計士をメンバーに組み込もうと考えている。
- 委員：・選考にあたっては、ぜひ現地を直接見てほしい。書類上は素晴らしいことが書かれていても実際とは違うこともあるし、その反対もあり得るので、保護者の代表も含めて現地をしっかりと見ることによって、より良い園を選考できると思う。
- 委員：・私の方から施設側の話をさせていただきたい。
- ・資料2の1過去の民間移管事業ということで、10園移管したとあるが、そのうちの

2園を運営している。いずれもスムーズに運営できている。

- ・15年度に初めて移管する際、保護者や保育士と色々な話をしながら移管について進めた。その際、市の保育士を派遣いただき、一緒に保育をやりながら、また指導させていただいた。その中で、公から民に変わるだけで不安を抱く保護者の方がたくさんみえたことも事実であるが、保護者の会に時間をかけてしっかりと説明していくうちに、現状とあまり変わらないことを理解いただいた。わが園は、保護者の会が協力的で様々な場面で応援いただいた。
- ・保護者にとって修了する、しないに関わらず入園できるのが幼保連携型認定こども園のメリットなので、進めていくと良いと考える。

委員：・私は、この会議には私立幼稚園協会の代表として出席させていただいているが、まゆみ幼稚園と民間移管を受けた、美山幼稚園を運営している。

- ・民間移管を受ける際、面接や現地訪問など厳しい審査をクリアして選考していただいた。選ばれたことへの自負がある。
- ・民間移管自体はとても良いことだと思う。
- ・美山幼稚園の時は、園長をはじめ職員の何人かは残ってもらえ、スムーズに移管できた。
- ・幼稚園の立場で話をさせていただくと、保育料の問題があるので、市として何か対策をお願いできればと思っている。

委員：・幼保連携型認定こども園ができることは、とてもいいことだと思う。

- ・姉の実体験をもとにした私の願いをお話したい。姉の長男がこども園に通っている時の話で、保育士が長男に対し、少し傷つくようなことを言ってしまったようである。長男は、他の子どもより目立って元気があったため、「もしかしたら障がいを持っているかも」と言ってしまい、長男はショックで1週間登園できなかった。これから子どもと保育士のトラブルがなくなるといいと願っている。

委員：・1つ質問です。移管のスケジュールについて、来年度既に上郷、高岡合わせて220名の受入枠不足が発生するとあるにも関わらず、30年度から移管を始めるのはなぜか？

事務局：・ご指摘のとおり、短時間で実施するのが望ましいことであるが、民間移管については保護者への説明を丁寧に時間かけて行いたいとの思いからスケジュールを設定した。

- ・また、民間移管をしたことで見えてくる課題もあると思うので、数園ずつ徐々に実施していきたいと考えている。

会長：・最後に私から質問したい。パブリックコメントで得られた意見は、今後どのように反映されるか？

事務局：・いただいたパブリックコメントの意見の中で、計画に反映することが必要であれば反映していく。

- ・また、計画案を大きく変更する場合は、臨時の会議を開催する。しかし、それ以外は、大森会長に報告をさせていただき、会長一任とさせていただきたいと思う。なお、その場合は、委員の皆様へに通知する。
- ・また、4月1日号の広報とよたで、決定した計画とともに、パブリックコメントの意

見等の概要及び、事務局の考え方を示す予定。

5 報告

(1)「豊田市のいじめの現状と防止等に関する取組について」【資料No.3】

事務局：・資料No.3 豊田市のいじめの現状と防止等に関する取組について報告

会 長：・ただいまの報告につきまして、何かご意見、ご質問はあるか。

委 員：・本日の資料で、検証報告書という冊子を配布いただいているかと思う。これは、名古屋市で平成25年に起きました、男子生徒がいじめを苦に飛び降り自殺をしてしまった事例があり、そのときの検証報告書である。私は検証委員を補佐する立場で関わった。全文公開で作成。いじめ対策検討委員会での研修の際も、この報告書を使用して行った。多くの方に読んでいただき、大変良いと好評だった。ぜひ一度読んでいただきたいと思う。名古屋市は今また全く同じような事件が起きました。報告書に記載されている内容は、どこの学校でも起こりうることなので、ぜひ参考としていただきたい。

- ・現在、次世代育成課が中心となって、小中学生向けに権利学習を行っている。こどもの権利相談室も協力し、昨日も小学校で研修を行った。その中で、ありのままの自分が認められているということ子ども条例の中で詩っているという話をした際に、ある生徒がキティちゃんのことが好きだったのに、ある時からそれを言わなくなり、話を聞くと、周りから冷やかされたらしく、ありのままの自分ではいられなくなったと話してくれた。それ聞いた生徒が自分も相手に対して同じようなことをしてしまったことがあると話してくれた。子ども達の気づきにつながるので、ぜひ権利学習を進めてほしい。また、協力できることはさせていただく。

会 長・それでは本日の議題はこれで終了させていただく。皆さんありがとうございました。事務局にお返しする。

6 その他報告事項

事務局：・資料別紙 子どもシンポジウム2015の開催について

7 閉会

事務局・長時間に渡り、熱心にご審議下さりありがとうございました。最後に次回の会議の予定について説明する。

- ・次回は平成28年7月頃予定している。日程が近づいたら、改めてお知らせする。
- ・本日の会議録については、事務局で作成し、大森会長にご確認をいただいた上で、市のホームページで公表させていただく。

以 上